



9月から、本会の公益的取り組み検討委員会が中心となり、校区である岩西小学校児童の下校時見守り活動を始めました。あゆみ学園もちろん、この活動に参加しています。

地域に何か貢献できることは？と委員会で考え、本会の活動として始めましたが、回を重ねるうちに児童からも明るく元気な挨拶が返ってくるようになっていきます。まだまだ始まったばかりの取り組みですが、地域から更に信頼される法人、事業所となるよう、地域の一員として何かができるのかを考え、今後も活動を継続していきたいと思えます。黄色のベストに交通安全旗を持った私たち職員を見かけましたら声をかけてくださいね。

園長 鈴木

11月の予定

- 2日(木):運動会 7日(火):あゆみ見学研修
- 10日(金):岡村 Dr、あゆみ見学研修
- 13日(月):AM保護者勉強会(感染症) 14日(火):防災訓練
- 15日(水):やきいも会 16日(木):PM職員研修
- 17日(金):やきいも会予備日 20日(月):誕生会
- 22日(水):PMティータイム分離 28日(火):はな組分離
- 29日(水):クリスマスのつどい
- 30日(木):AM保護者勉強会 Q&A

職員出張

- 13日(月):PM 豊川(水野)
- 21日(火):PM 市内(増井)



外来保育 A
10:30~11:30
6日(月) 13日(月) 21日(火) 28日(火)

外来保育 B
14日(火) 13:00~14:00
21日(火) 10:30~11:30



11月うまれのおともだち

- 5日 あゆむくん 6さい
- 30日 しゅりちゃん 3さい

おめでとうございます!





お口の体操

あゆみ学園で実施している「お口の体操」。おうちでもやっていますか？お口やその周囲を刺激したいすることは、お話ししたり食事をするだけでなく表情を作ることにもつながります。朝など忙しく一通りやるのが難しい場合は一部だけでも実施するとよいと思います。どういうタイプの子にどういうマッサージが良いのか、その他の情報も含めて少し解説してみたいと思います。

・口を閉じない。よだれが多い。スプーンで取り込む時に口唇が降りてこない。

→当園で実施している「下の口唇」「上の口唇」のマッサージです。よく口を開いていたりするお子さんは併せてお口の周りをトントン指で刺激するタッピングを行いましょう。スプーンで捕食する時、口唇が降りてきづらいうちの子は、上口唇を内と外でつまんで中心に寄せてくるようなストレッチをします。何人かの保護者さんには伝えていますが、やり方は ST の時間にお伝えするので気になっていて取り組んでみたい保護者の方は声をかけてください。

・舌の前後の動きが中心で、上下の動き・左右の動きが出にくい。

→当園でやっている「ゴクンのところ」のマッサージよりやや手前。あごの骨が切れたところの柔らかい筋肉を上へ押し上げます。また、むせやすい子などはここを触った時に硬く感じる場合があります。我々も舌にくぐと力を入れてあごの下を触ると硬く感じます。つまり、あごの下の筋肉が硬い子は舌を硬くして使っているため滑らかな動きが出にくいです。しっかりとあごの下の筋肉をほぐしていきましょう。むせに関してはガムラビング法というマッサージも有効です。口腔内を4分割し、手前から奥に向かって10回ずつリスミカルに指で歯茎のところを刺激していきます。何人かの保護者の方には伝えていますが、気になる方は ST の時間に聞いてください。

・お口の真似っこ、声の真似っこ。

→どんなことでも学習は真似から始まります。ただ声は目に見えないですし、お口も鏡を見ないと自分では分かりません。ハードルの高い課題と言えます。お口や声の真似が難しい場合は動作の真似っこを促してみよう。目に見えやすい動作の真似っこを促すことで後の口や声の真似っこにつながりやすくなりますし、動作の真似を覚えたことでジェスチャーを使ったコミュニケーションが進みます。人に伝える楽しさを知ったことでことばにつながりやすくなるケースもあります。動作の真似っこにつなげるためには介助して手を動かしサポートしてあげることも、手の介助を極端に嫌がる場合にはしっかり触れて過敏をとっていくことが必要になってきます。

このように発達はさまざまな形でつながっています。リハビリや保育でやっていることには意味があります。疑問に思うことや気になることは保育・リハビリのスタッフまで遠慮なく聞いてください。

